

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Proc Natl Acad Sci 2007; 104: 10998- 11001	アミロイドを含有するフォアグラにアミロイド促進因子 (AEF)活性があるかを調べた。市販のフォアグラから抽出 したアミロイドA蛋白含有フィブリルを、二次性アミロイドー シスを起こすトランスジェニックマウス9匹に静脈内投与し たところ全例で、また縫口投与した場合は8匹中5匹でアミ ロイドの組織沈着が見られた。一方、対照群では全く組織 沈着は見られなかった。加熱によりフォアグラのAEF活性 は弱まったが、消失しなかった。アミロイドーシスは伝播 性で、プリオン関連疾患の感染性と類似する可能性があ る。
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	SEAC/Position Statement 2007年8 月13日	英国保健省はSEACに歯科治療処置を介したvCJD伝播 のリスク概算を目的とした初期研究の知見についての助 言を求めた。初期研究では、歯科処置によるvCJD伝播の リスクが予想より高いことが示唆された。ガイダンスは今 年初め歯科治療用器具の使い捨てを勧告した。公衆衛生 上の影響についてのより綿密な考察と、さらなるリスク減 少手段の特定のため、全ての歯科治療のリスクについて 詳細で包括的な評価を早急に行うことも重要である。
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Prion 2007; 2007年 9月26-28日 Edinburgh P04.51	73歳の受血者で生前に特定されたvCJDの非典型的な症状 の報告である。患者は1997年12月に輸血を受けたが、供 血後にvCJDを発症した供血者由来の赤血球製剤であっ た。輸血から8年後、受血者は疲労及び集中困難を訴え たが、神経学的検査及び脳MRIは正常であった。この8か 月後に神経学的症状が発現し、進行したが、血清学的検 査は正常であった。MRIでは視床背側核全体の顕著な信 号変化が示された。vCJDの早期潜伏期間と無症候状態 は、重大な公衆衛生問題を提示する。
												HIV	Clin Infect Dis 2007; 45: e68-e71	ボツワナで急性HIV-1感染スクリーニング中に特定された 抗体陰性のHIV-1サブタイプC感染の初の症例を報告す る。HIV-1抗体検査の結果は、迅速検査、通常の酵素免 疫測定法及びウエスタンブロットで全て陰性であった。遺 伝子組換えがないHIV-1サブタイプC感染は、ウイルスの gag、pol及びenv遺伝子のジェノタイプングによって確定さ れた。臨床的に安定した状態からAIDS関連死までの期間 は約3か月だった。サブタイプCが優勢なアフリカ南部にお ける血清学検査陰性HIV-1感染の調査の重要性が示さ れた。